

～日本の記憶をめぐる旅 千年ロマン時空の旅～

豊の国千年ロマン観光圏整備計画

2014年6月23日

大分県別府市、中津市、豊後高田市、杵築市
宇佐市、国東市、姫島村、日出町

豊の国千年ロマン観光圏整備計画

目次

I. 基本的事項

- (1) 観光圏の区域
- (2) 滞在促進地区の区域
- (3) 観光圏整備事業の実施体制
- (4) 観光圏整備計画の目標
- (5) 計画期間
- (6) 住民その他利害関係者の意見を反映させるための措置及び反映内容

II. 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本的な方針

III. 観光圏整備事業の概要

IV. 協議会に関する資料等

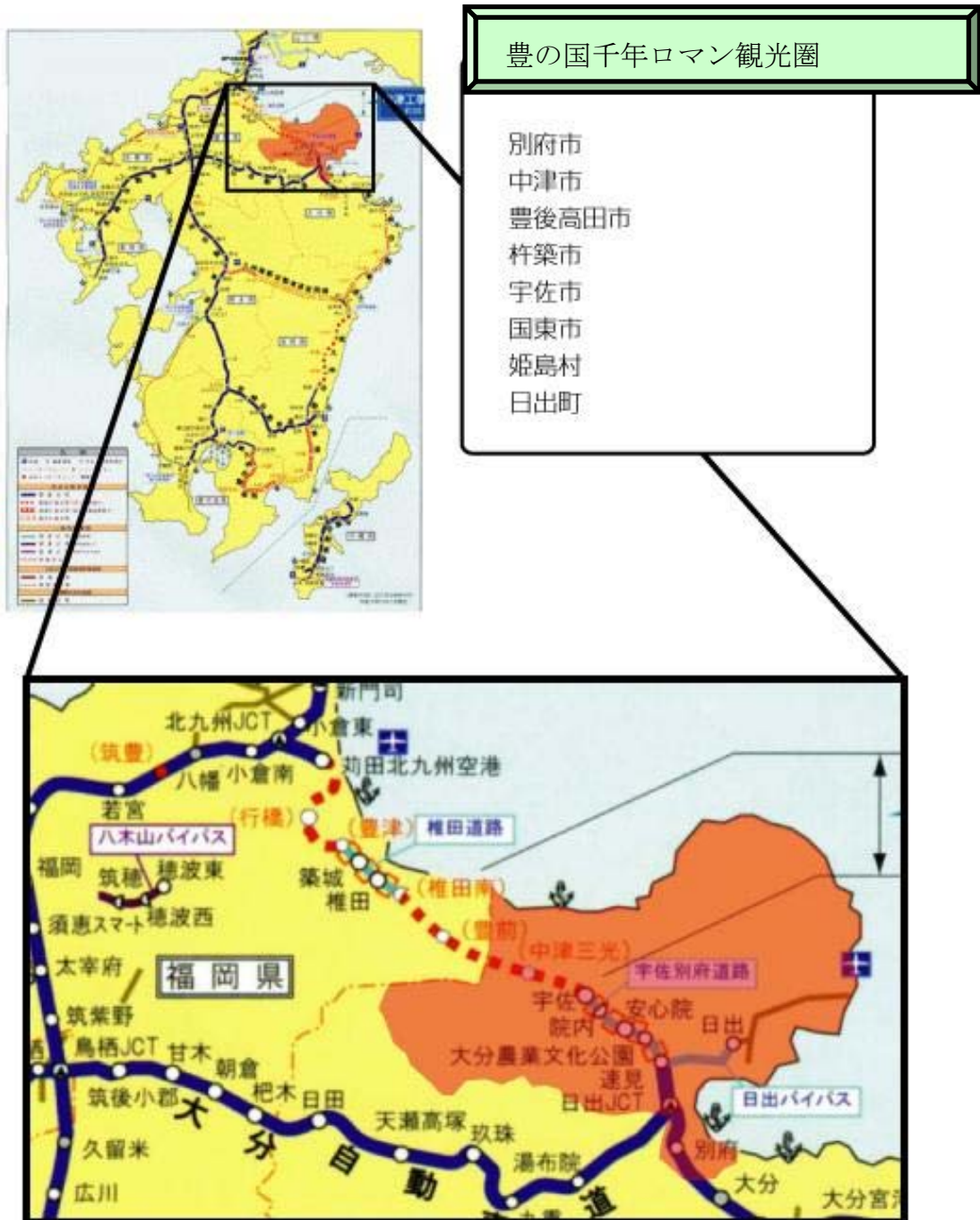
V. その他市町村又は都道府県が必要と認める事項

参考資料

I. 基本的事項

(1) 観光圏の区域

本計画においては、大分県北部地域の、別府市、中津市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、日出町、姫島村の6市1町1村を圏域とし、豊の国千年ロマン観光圏の形成を図る。



①観光圏の概要

国際都市別府を擁する当地域は、瀬戸内海に面した大分県北部に位置し、低山地と丘陵が広がる内陸部と、波穏やかな海岸部により構成されており、四季の移ろいがはっきりと感じられる地域である。

地域全体としては、日本有数の温泉地である別府に加え、宇佐神宮の影響を受け国東半島で栄えた「六郷満山文化」など、古代から中世、明治、大正、昭和と千年の時の流れを感じることができるほど歴史的な地域資源が豊富である。中でも、「宇佐神宮」、「富貴寺大堂」という2つの国宝をはじめ、数々の史跡など総体として魅力を発信する地域であり、誘客力を十分有しているといえる。

②構成市町村の概要

別府市

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳の麓で裾野をなだらかに別府湾へと広げる扇状地特有の地形により、緑豊かな山々や高原と波静かな別府湾に囲まれた美しい景観を誇り、大地から立ちのぼる「湯けむり」は別府を象徴する風景として市民はもちろん観光客からも親しまれている。



市内には、別府八湯と呼ばれる8つの温泉エリアが点在し、およそ毎分9万リットルの温泉は、日本一の湧出量と源泉数を誇り、医療、浴用などの市民生活はもとより観光、



産業などにも幅広く活用され、古くから日本を代表する温泉地として賑わい、年間約800万人の観光客が訪れる歴史と文化あふれる国際観光温泉文化都市である。

人口は、県内では大分市につぎ2番目となる12万人を越えるが、市内には約3000人の留学生が勉学に励んでおり、日本でも有数の異文化あふれる国際交流都市としても成長を続けている。

中津市

中津市は、大分県の西北端に位置し、東は宇佐市、南西は玖珠郡・日田市、北西は福岡県に接し、北東は周防灘に面している。

北部は狭く南部は西方に大きく張り出した形状を示し、西側に英彦山がそびえ、地域を貫流する山国川の分水嶺となっている。

中津市は古くから文化が発達し、優れた人材を数多く出している。

江戸時代には蘭学の創始者「前野良沢」や国学者「渡辺重名」、儒学者「白石照山」などが、そして、明治に入り、啓蒙思想家として著名な「福沢諭吉」をはじめ、歯科医の祖「小幡英之助」、心臓刺激伝導系を発見し、ペースメーカーの父と呼ばれる「田原 淳」、実業家では「中上川彦次郎」、「和田豊治」、また酪農の草分け「宇都宮仙太郎」、道徳科学の「広池千九郎」など、多彩な人物を輩出をしている。中津市は先覚者たちの活躍により、高い文化風土に育まれてきたと言える。



名所旧蹟も各地に散在し、特に旧下毛地域の80%は耶馬溪日田英彦山国定公園に包括され、詩聖頼山陽が「耶馬溪山天下無」と詠んだように、奇岩秀峰が随所に見られる山紫水明の地として優れた景観を有し、頼山陽をはじめとする文人たちが著した数多くの美術、工芸品も残っている。

豊後高田市

豊後高田市は、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、西は宇佐市、東は国東市、南は杵築市と接している。瀬戸内海国立公園及び国東半島県立自然公園を擁し、変化に富んだ海岸部から田染耶馬や夷耶馬など奇岩が連なる山間部など風光明媚な自然景観、泉質の異なる6つの温泉など豊かな自然に恵まれている。



九州最古の木造建築物「国宝富貴寺」を始め、国内最大級の熊野磨崖仏、重要文化財の仏像9体を有する真木大堂など六郷満山文化ゆかりの史跡、中世の荘園集落の姿を今にとどめ、重要文化的景観（申出中）の「田染荘」など全国的にも有数の歴史的観光資源が豊富である。

また、生きた商店街そのものを観光資源とし、観光と商業の一体化を目指した「昭和の町」には、年間30万人を超える観光客が訪れ、商店街再生の成功例として全国から注目されている。



杵築市

杵築市は、大分県の北東部、国東半島の南部に位置し、別府湾に面する海岸地域から山間部に至るまで、地形は多様に富んでいる。

また、東に大分空港、南には日出町を経て別府市・大分市に近く、北は宇佐市と隣接し、大分空港道路や宇佐別府道路、大分自動車道の3本の高規格道路の連結点として交通の要衝となっている。



東に伊予灘、南に別府湾と、南東部は眺望の美しい海岸線となっており、北は両子山から連なる山々が、西は鹿鳴越山系、雲ヶ岳等、北西部は200mから600m級のなだらかな山々に囲まれた自然豊かな山間地を形成している。

杵築城を中心として、南北の高台にある勇壮な武家屋敷が、谷間の商人の町を挟んだ「サンドイッチ型城下町」の形状は、日本唯一と言われ、時代劇のロケでも使われるほど江戸時代の風情が今も色濃く残っている絶景城下町である。

また、“京都につづく和服で歩きたいまち”を目指し「和服応援宣言！」を行っている全国初の「きものが似合う歴史的町並み」にも認定された九州豊後路の小京都でもある。



宇佐市

宇佐市は大分県北部地域に位置し、北に風光明媚な周防灘が開け、南は玖珠郡、由布市、西は中津市、東は豊後高田市、別府市、杵築市、日出町に接している。南北 30 km、東西 20 kmの広大な地勢で、海浜地域から平野地域、都市的地域、中山間地域、内陸盆地地域及び大規模な森林地域まで非常に多様な地域構成となっている。



全国 4 万社あまりある八幡社の総本宮である宇佐神宮をはじめ、東西別院、龍岩寺、鰻絵、石橋など数多くの歴史的遺産や広大な草原に野生動物が暮らすアフリカンサファ



リが観光の中心である。また、近代戦争遺跡としては全国で 2 番目に史跡指定された「城井 1 号掩体壕」をはじめとする宇佐海軍航空隊の遺構群を活用した平和学習や「安心院方式」と呼ばれている会員制農村民泊のグリーンツーリズムを活かした交流・観光などが活発に行われている。

国東市

国東市は大分県の北東部、国東半島の東部に位置し、北部から東部にかけて伊予灘に面している。沿岸部を埋め立ててできた大分の空の玄関口である大分空港があり、大分を訪れる多くの観光客を迎えている。



国東半島の中央に位置する両子山から放射状に海へと下がる 28 の谷が、半島に刻まれている。大昔、谷には村ができ、来縄、田染、伊美、国東、武蔵、安岐という名が付けられていた。この村を中心に発展した山岳仏教

が六郷満山文化と呼ばれ、そのうちの4つの郷が国東市にあり、六郷の中核を成していた。

国東塔や仁王像をはじめとする石造は道のいたるところにあり「仏の里国東」と呼ばれている。中でも、「3人寄れば文殊の知恵」のことわざ発祥の地といわれる文殊仙寺には日本一の宝きょう印塔があり、姿が優美であるとともに周囲の景色とも調和しすばらしい景観である。



また、「世界を歩いた神父」として知られる『ペトロ岐部』は、キリスト教徒のあこがれの地であるエルサレムを訪れた初めての日本人である。

国東には現代人の疲れた心と体を癒してくれるパワーがあり、ウォーキング・トレッキング・サイクリングが四季を通じて楽しむことができる。

姫島村

姫島村は、瀬戸内海の西端大分県国東半島の北6キロの海上に浮かぶ、周囲17キロ、面積6.85平方キロ、人口約2,000人の、沿岸漁業と車えびの養殖を主な産業とする、大分県唯一の一島一村の離島である。

毎年8月14、15日には、「キツネ踊り」で有名な「盆踊り」が開催されており、多くの観光客で賑わっている。最近では、渡り鳥ならぬ渡りチョウのアサギマダラの休憩地として脚光を浴びている。



およそ20万年前からの火山活動によって誕生した島であり、火山に由来する様々な地質資源が見られる。島内随一の景勝地である観音崎は、全国的にも珍しい高さ40mもの乳白色の黒曜石の断崖があり、国の天然記念物にも指定されている。他にも地殻変動の痕跡などの珍しい地形や地層も残っており、平成25年には日本ジオパークに認定された。



日出町

日出町は、大分県の中東部に位置し、大分市と大分空港のほぼ中央にある国東半島の入口の町である。北はミヤマキリシマが咲く経塚山や大友氏の山城が築かれた古城山等が連ねる鹿鳴越（かなごえ）山系がそびえ、南は波静かで風光明媚な別府湾に面している。



別府湾を臨むなだらかな背後地の鹿鳴越山系に降り注ぐ雨が、長い年月をかけ良質な水となって町内随所で湧き出ており、暘谷城趾の眼下に広がる別府湾の海中に湧く真清水の周辺で育つマコカレイは「城下かれい」と呼ばれ、全国的に有名である。



日出町は交通の便もよく、大分自動車道・宇佐別府道路・大分空港道路の3本の高速道路が交差し、国道10号線・国道213号線、JR日豊本線も町内を東西に走り、交通の要衝となっており、大分市や別府市のベッドタウンでもある。

(2) 滞在促進地区の区域

① 主たる滞在促進地区

● 別府地区

設定理由：別府地区は、年間 800 万人の観光客が訪れる日本を代表する温泉観光地であり、交通体系についても、市の中心部に位置する JR 別府駅や、関西や四国からの玄関口である別府国際観光港を抱え、大分空港からのアクセスも良く、当圏域を周遊する旅の出発地点として最適である。

宿泊施設数：295軒

② 滞在促進地区・交流地区

● 近代の街 別府温泉（別府市）

設定理由：近代から続く共同湯が多く残る別府では、情緒漂う湯けむりの景観、近代遺産や近代の日本人の知恵や暮らしに触れることができる。

● 神代の島 姫島（姫島村）

設定理由：神代の国生みの地である姫島では、大事に受け継がれてきた島ならではの郷土料理など、非日常の生活文化に触れることができる。

● 神代の杜 宇佐神宮（宇佐市）

設定理由：神仏習合発祥の地である宇佐では、大事に受け継がれてきた信仰の暮らしや食文化等に触れることができる。

● 古代の山 六郷満山（国東市・豊後高田市）

設定理由：神仏習合の山岳仏教である「六郷満山文化」が花開いた国東半島では、神仏への祈りの心に触れることができる。

● 中世の村 荘園の村（豊後高田市）

設定理由：1000年前の景観をそのまま残している「田染荘」では、大事に受け継がれてきた農業文化や農業技術等に触れることができる。

● 近世の町 学びの城下町（中津市）

設定理由：学問の偉人を多く輩出した「城下町中津」では、大事に受け継がれてきた生活文化や生活技術等に触れることができる。

●近世の町 坂の城下町（杵築市）

設定理由：多くの武家屋敷や老舗の商店を有する「城下町杵築」では、大事に受け継がれてきた武家社会の情緒に触れることができる。

●近世の町 海の城下町（日出町）

設定理由：別府湾の風光明媚な景観を有する「城下町日出」では、大事に受け継がれてきた文化や海岸線の景観に触れることができる。

●近代の町 昭和の町（豊後高田市）

設定理由：昭和30年代の商店街の景観がそのまま残っている「昭和の町」では、大事に受け継がれてきた古き良き商人の心に触れることができる。

豊の国千年ロマン観光圏 圏域図



access

飛行機

東京(成田)	約2時間	大分空港	約45分	別府
東京(羽田)	約1時間35分		約97分	中津
名古屋(中部)	約1時間5分		約58分	宇佐
大阪(伊丹)	約1時間			

JR

東京	約5時間40分	別府
名古屋	約4時間	
新大阪	約3時間30分	
博多	約1時間50分	

●東京～、名古屋～、新大阪～は小倉乗り換え ●博多～はソニック直達

フェリー

スオーナダフェリー	徳山(山口県)	約2時間	竹田津(国東市)
フェリーさんふらわあ	神戸	約11時間20分	大分
	大阪	約11時間50分	別府
国道九四フェリー	三崎(愛媛県)	約1時間10分	佐賀関(大分市)
	宇和島運輸フェリー	八幡浜(愛媛県)	約2時間50分
姫島村営フェリー	姫島村	約20分	伊美(国東市)

車(高速・空港道路利用)

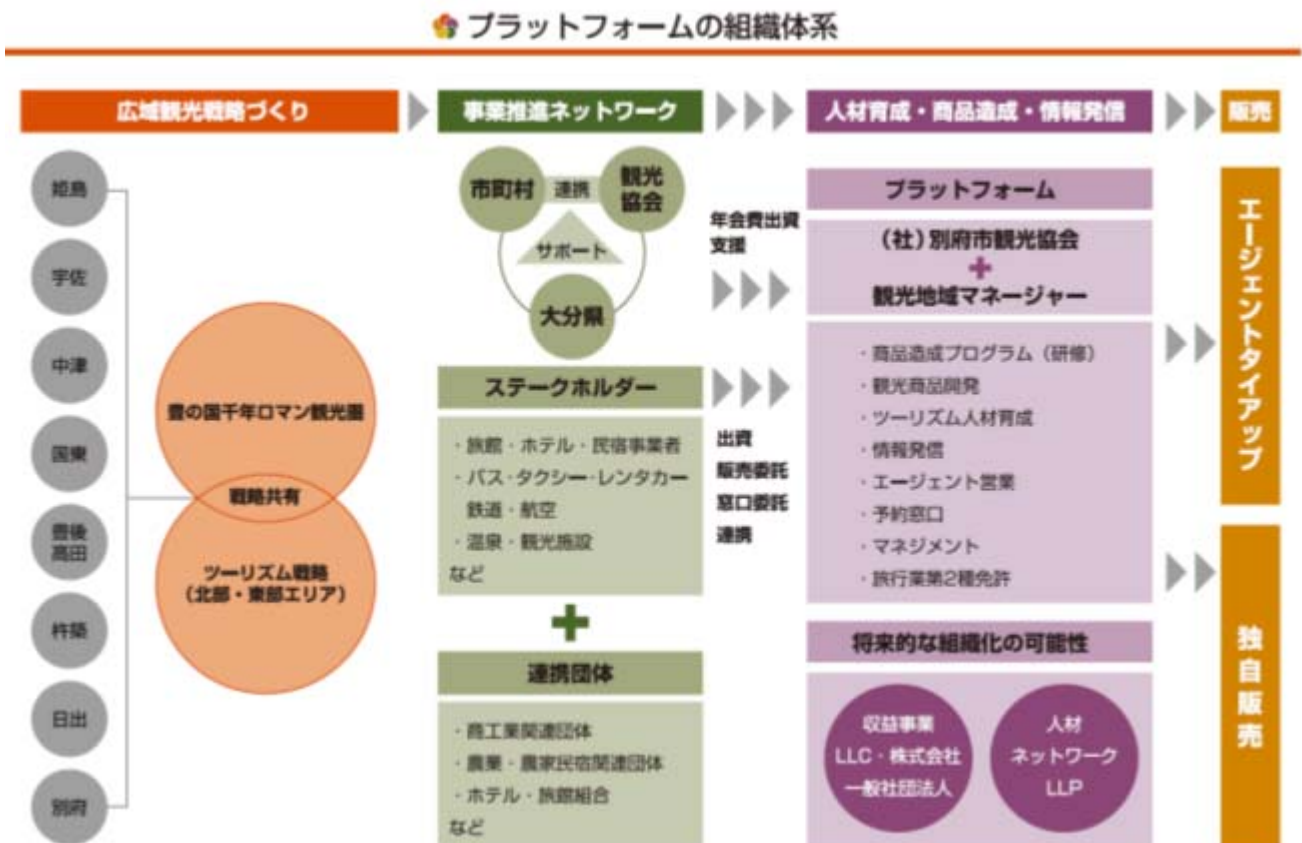


(3) 観光圏整備事業の実施体制

「豊の国千年ロマン観光圏協議会」を実施主体とし、一般財団法人別府市観光協会がプラットフォーム機能を担い、関係8市町村や各観光協会等が連携して、マーケティング調査・分析、滞在プログラム造成、ワンストップ窓口づくりなどを企画・調整する。

観光地域づくりマネージャーは、十分な知識と実務経験を有し、観光庁の研修を受けた5名を当初配置し、将来的に全市町村に観光地域マネージャーが配置される状況を目指す。

行政は、各主体との連携促進、2次交通対策、景観整備等についてプラットフォームと連携しながら、効果的な観光地域づくりを推進する。



(4) 観光圏整備計画の目標

主たる滞在促進地域である別府を起点に、県北部の周遊を促進し、2泊3日以上
の滞在型観光に繋げるため、下記の目標を設定する。

(考え方)

- ・観光入込客数を増やす。5年後には5%増の目標。
- ・宿泊客を増やすとともに、宿泊日数の延長も目指す。
- ・滞在プログラムなど魅力ある商品を増やすことで、地域での観光消費を増やす。
- ・観光客の満足度を高め、クチコミでのPRやリピーターの増に繋げる。
- ・観光地域づくりマネージャーの育成等を通じた継続的自律的な活動体制の確立を
目指し、現在の5名の同マネージャーを全市町村各1名の8名体制とすることを
目標とする。

主たる滞在促進地域(別府市)における数値目標

(単位：千人)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
観光客入 込客数	8,277	8,360	8,443	8,696	8,781	8,865
宿泊客数	2,397	2,421	2,445	2,469	2,493	2,517
うち外国 人	192	194	196	198	200	202
観光客消 費額(千 円)	80,639	81,445	82,252	83,058	83,865	84,671
満足度 (%)		調査 実施	前年比 1%増	前年比 1%増	前年比 1%増	前年比 1%増

年間観光客入込数 目標5%増加(H30)

年間宿泊者数 目標5%増加(H30)

外国人宿泊者数 目標5%増加(H30)

観光消費額 目標5%増加(H30)

(5) 計画期間等

計画期間は、平成26年7月1日から平成31年3月31日までの5年間とする。

計画の全期間を通じて毎年、宿泊者へのアンケート調査やモニタリング調査を実施しながら、計画の遂行状況や達成状況を測定する。

その結果をもとに、検証を行い、必要に応じて適宜計画の見直しを行い、事業に反映させる。

(6) 住民その他利害関係者の意見を反映させるための措置及び反映状況

本観光圏は、8市町村の観光まちづくりに関係する多種多様な主体（観光協会、旅館組合、交通事業者、旅行会社）が地域住民の代表として構成員となっており、住民その他利害関係者の意見や圏域内のニーズ把握については、協議会総会、役員会、作業部会等の開催により実施してきたところである。

また、圏域内各市町村において、地域住民と本観光圏の方向性や、滞在プログラムの造成などについて検討するワークショップを開催した。

今後も、構成員である関係団体との意見交換を頻繁に行い、プラットフォームを中心に住民その他利害関係者の意見を反映できる体制を運営していく。

Ⅱ. 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本的な方針

(1) 「豊の国千年ロマン観光圏」整備の必要性

平成26年度末に予定されている東九州自動車道北九州～宮崎間の大部分の開通は、九州東側が南北に結ばれるだけでなく、中四国・近畿との交流・連携をはじめとする地域産業の振興をはじめとした地域活性化に大きく寄与し、大分県北部地域に与える効果は多大なものと期待されている。

この東九州自動車道を将来にわたって最大限に活用し、大分県北部地域の優位性を活かした新たな地域振興を図っていくためには、広域的な観光ルートの形成や飛行機、鉄

道など多様な交通機関との連携などの幅広い取組である観光圏整備が必要不可欠である。

豊かな温泉と歴史文化、新鮮な食材、祭りなど、地域の秀でた資源を活用し、従来からの「個の努力」「個の磨き」に加え、地域全体としての総合力を高め、全国モデルとなりうる観光圏を形成するとともに、今後、海外観光客（インバウンド）も含め別府などの温泉資源とともに国際競争力の高い観光地形成に取り組んでいく。

(2) ブランドコンセプト

豊の国千年ロマン観光圏では、

「歴史」・「温泉」・「食」

という当圏域の特色ある魅力を磨き・育て、個性豊かな観光資源の魅力づくりに努め、圏域一体となった温かいおもてなしを実践していきます。

ブランドコンセプトは、

「日本の記憶を巡る旅・・・千年ロマン時空の旅」

とし、神代から現代まで時代を超えて培われてきた生活文化と生活技術、つまり日本が歩んできた足跡であり時代ごとに受け継がれてきた日本人の精神のカタチを地域独自の魅力として、まだまだ観光客に浸透していない中津・宇佐・国東半島の「歴史」体験を魅力・認知度の高い「別府温泉」と一体的に国内外へ情報発信、プロモーション活動を実施していきます。

また、「滞在力・魅力があふれる観光地域づくり」を目指すために、国内からの観光客に対しては、「体験」滞在や「温泉」滞在など周辺地域へのプラス1日の滞在を促進し、海外（特に東アジアや東南アジア）からの観光客に対しては、充実した別府の安心感の高い「温泉」滞在を中心とした事業を、官民連携で取り組んでいきます。

(3) 基本方針

豊の国千年ロマン観光圏では、次の5つの方針を掲げる。

基本方針

方針1 歴史・温泉・食が三位一体となった滞在型観光の推進

観光客のニーズに対応するため、「歴史」「温泉」「食」などをキーワードに、さらなる観光資源の魅力づくりを行う。

滞在促進の重要な誘因である宿泊施設における「食」の充実を、地域の創意工夫、農業・漁業、

関係事業者等の協働で図る。

方針2 観光資源の魅力向上と再発見

現状の観光動向を中心としたマーケットも考慮した観光資源の見直しを図りながら、地域にふさわしい時代にマッチした新しい観光メニューを整備する。

方針3 周遊促進のための仕組みづくり

観光客の交通の拠点となる空の玄関口「大分空港」、陸の玄関口「別府駅等JR特急停車駅」や「別府IC等高速道路IC」、そして海の玄関口「別府港」を抱えていることから、移動の仕組みづくり（ソフト事業）と社会資本整備（ハード事業）の両面で地域、観光資源、交通拠点などが連携し、周遊を促進する。

方針4 民間と連携した受け入れ体制の整備

滞在促進地区・交流促進地区・観光資源・交通拠点との「連携」、観光業だけでなく、農業、漁業、商工業などの業種・企業間の「連携」、産・学・官・民の「連携」、他の観光圏の「連携」、行政（市町村・都道府県・国）間における事業「連携」、そして海外との「連携」。さまざまな場面で想定される「連携」を積極的に促進・強化する。

また、ボランティア組織や観光関連事業者・団体、宿泊施設などと連携し、地域が主体となった人材育成、ホスピタリティ向上など、受入体制の構築・充実を図る。

方針5 国内はもとより海外を含めた、積極的な誘致活動

「豊かな歴史資源・自然資源」「豊富な食材」「時間のアドバンテージ」など、まだまだ認知されていない当圏域の魅力を、「別府」という知名度を活かし、国内はもとより海外まで、プロモーション活動や情報発信を行う。

Ⅲ. 観光圏整備事業の概要

「千年ロマン観光圏」のブランドコンセプト、基本方針に基づき、「住んでよし、訪れてよし」の滞在交流型観光を目指す。

地域住民が主役となる滞在プログラムの造成の他、滞在促進地区・交流地区ごとに魅力の磨き上げ、主たる滞在促進地区から各滞在促進地区・交流地区をめぐる交通手段の整備などの周遊を促進する事業を行い、受入れ整備を行う。

ブランド戦略を策定し、ターゲットを明確にした上で効果的なプロモーションを行っていく。

(1) 主たる滞在促進地区を起点とする滞在プログラム企画促進、魅力向上等事業

※整備実施計画に合わせて記載する。

事業 No.	個別事業名	事業概要	実施主体	実施時期
1-1	千年ロマンワークショップ開催事業	各地域にある地域資源を活用した着地型旅行商品の企画検討・ブラッシュアップや圏域内の観光・まちづくり・文化・農業等各関係者の連携強化等を目的として、圏域各地で観光地域づくりマネージャー又は外部講師によるワークショップを開催する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
1-2	滞在プログラム提供者スキルアップ研修事業	滞在プログラム提供者（紡ぎ人）の合同研修を開催する。各プログラム提供者のプログラムに参加し、意見交換を行うことで情報共有とレベルアップを図る。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
1-3	観光ボランティアガイド育成事業	地元ボランティアガイド団体と連携し、まちあるきを企画、展開。研修会の開催や情報交換を行い、新人発掘やガイドのレベルアップを図る。	別府市観光協会	平成 26 ～30 年度

(2) 主たる滞在促進地区における事業

事業 No.	個別事業名	事業概要	実施主体	実施時期
1) マーケティング調査				
2-1	ブランド戦略策定事業	観光圏事業を効率的・効果的に実施するため、定期的に満足度、消費額、リピーター率等の調査・分析を行い、ブランド戦略の策定及び見直しを行う。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
2) 宿泊サービスの改善・向上、魅力向上				
2-2	宿泊施設魅力向上事業	旅館・ホテル等宿泊施設と連携し、滞在交流型プログラムを活用した宿泊プランの造成や旅行業法特例を活用した体験プログラムの販売等を推進する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
2-3	温泉カルテ作成事業	宿泊施設の温泉について、源泉だけではなく浴槽の成分分析及び情報発信を行うことにより、源泉掛け流しである信用度を高めるとともに、五感で感じる部分なども詳細に説明	別府市旅館ホテル組合連合会	平成 26 ～30 年度

		し宿泊客等が目的や好みに合った温泉を選べるようにする。		
3) 滞在コンテンツの魅力向上				
2-4	湯けむりライトアップ事業	宿泊客等の夜の滞在コンテンツの充実を図るため、土・日・祝日・イベント開催時に、湯けむりのライトアップを行う。	別府市旅館ホテル組合連合会	平成 26 ～30 年度
2-5	千年ロマン時空博	千年ロマンワークショップにて企画検討・造成・ブラッシュアップした滞在プログラムのテストマーケティング等を目的として、ガイドブック制作、プログラムの集中開催、強力な情報発信を行う。また、参加者へアンケート調査を実施し、ファンクラブ会員への登録を促す。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
2-6	別府路地裏バル	別府の飲食街「北浜」の飲食店と連携し、飲食店巡りを促進する飲み歩きイベント（バル）を開催する。	別府駅路地裏バル実行委員会	平成 26 ～30 年度
2-7	食観光推進事業	圏域内の周遊を促進するため、各地のご当地グルメを食べ歩くスタンプラリー「豊の国千年ロマンガルメ巡行」の実施や、圏域内のご当地グルメをまとめたガイドブックの制作等を行う。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
2-8	別府八湯温泉道事業	約 150 箇所の市内の温泉のうち 88 箇所めぐりスタンプラリーを年間通じて実施する。現在では約 5,000 名の名人が誕生しており、全国の温泉ファンがリピーターとなっている。	別府市観光協会	平成 26 ～30 年度
2-9	温泉周遊システム構築事業	別府に来る観光客（特に温泉ファン）の周遊を促進するため、別府温泉の 88 箇所めぐり「別府八湯温泉道」の特別編として県北の温泉を加えたスタンプラリーを定期的実施する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
2-10	別府観光コンシェルジュ事業（インバウン	世界約 80 ヶ国からの留学生と連携し、別府市内を案内できる留学生ガイドの育成を行い、通訳、観光ガイドとして	別府商工会議所	平成 26 ～30 年度

	ド)	活躍していただく。 また、観光バスと連携し、海外からの団体対応も検討する。		
4) 移動の利便性の向上（アクセス整備）				
2-11	市内路線バスフリー乗車券「ぐるすば」	観光客の周遊・滞在の円滑化を図るため、1日又は2日間乗り放題のフリー乗車券と併せて、JR別府駅と鉄輪温泉・明礬温泉や血の池地獄等主要観光地を結ぶ路線で「ぐるすばバス」を運行する。	別府観光滞在促進協議会	平成 24 年度 ～
2-12	国東半島周遊観光バス実証運行事業	国東半島をめぐる既存の定期観光バス((株)大分交通)と連携し、観光資源の有効活用を図るための路線と運行体制の見直しを行い、新たな周遊観光バスを実証運行する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、大分交通(株)	平成 26 年度 ～
2-13	周遊バス運行実証事業	別府発着で圏域内の主要観光地を巡るコース等を設定した周遊バスの運行実証を行う。	大分県交通政策課	平成 26 ～27 年度
5) 情報提供の充実				
2-14	インターネットやガイド本による情報発信事業	開設した圏域の観光やイベント、交通などの情報を集約した専用ホームページの充実を図る。体験プログラム等の紹介に限らず、地域住民が中心となり、旬の情報を地域から発信するための仕組みを整備する。併せて、外国人向けのポータルサイト整備を行う。また、公式 facebook、公式 twitter を活用した情報発信も改善を図る。観光拠点に配備したデジタルフォトフレームを活用した情報発信も行う。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26 ～30 年度
2-15	都市圏プロモーション推進事業	東九州自動車道開通のほか、大河ドラマ「軍師官兵衛」や平成 30 年の六郷満山 1300 年などの契機に合わせ、関西圏（大阪等）、中国圏（広島、岡山等）及び九州圏（博多、北九州等）において、情報発信を行う。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、ツーリズムおおい	平成 26 ～30 年度
2-16	訪日外国人旅行商品開発・認知度向上事業	韓国、中国、台湾からの観光客獲得のために、ホームページや印刷物等において外国語	豊の国千年ロマン観光圏協議会、ツーリ	平成 26 ～30 年度

		での情報発信を行うとともに、海外の旅行イベント等に参加しPRを図る。	ズムおおい	
2-17	観光圏案内所整備事業	観光圏全体を案内するワンストップ案内所機能を高めると共に、来訪客にわかりやすい拠点を整備する。 また、市内3カ所ある外国人観光客案内所とも連携し、周遊促進を図る。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、別府市	平成26～30年度
6) その他				
2-18	訪日外国人受入体制整備事業	訪日外国人に対し当圏域らしい心づくしのおもてなしと旅行ニーズに応じたサービスを提供する体制整備を図るため、おもてなし研修等を随時行う。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、ツーリズムおおい	平成26～30年度

(3) 交流地区等における滞在・回遊促進事業

事業No.	個別事業名	事業概要	実施主体	実施時期
3-1	大河ドラマ「軍師官兵衛」誘客宣伝活動事業（近世学びの城下町交流地区）	平成26年から放送の大河ドラマ『軍師官兵衛』の主人公 黒田官兵衛関連のイベント開催、ホームページ制作、資料館設置などを実施し、交流人口の増加を図る。	大河ドラマ「軍師官兵衛」推進協議会	平成26年度
3-2	千年ロマンバル（飲食店飲み歩きのイベント）推進事業	「別府路地裏バル」、「昭和の町バル」「日出のHOTバル」「国東鶴川バル」等の地域での飲み歩きイベントを広域で連携して実施する。広域でのチケット販売や広報を図り、今後の実施エリア拡大も進める。	豊の国ロマン観光圏協議会、別府路地裏バル実行委員会、昭和の町バル実行委員会、日出町、国東市	平成26～30年度
3-3	国東半島峯道ロングトレイル整備事業（古代の山六郷満山交流地区、中世の村田染荘交流地区）	平安時代に始まり19世紀中頃に途絶えた六郷満山の修験行事「峯入り」をコンセプトに、ロングトレイルコースを整備するとともに、コース認定ガイドの養成やイベント開催等を行い、国東半島における滞在・回遊を促進する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、国東市、豊後高田市、国東半島峯道トレイルクラブ	平成26～30年度
3-4	峯入り文化保存・継承活用事業	宇佐神宮（御許山）から国東半島に広がった峯入り文化を	豊の国千年ロマン観光圏協	平成26～30年度

	業 (神代の杜 宇佐神宮交流 地区、古代の山 六郷満山交流 地区)	体験できる状況にするため、 古道の環境整備を行うとともに、 講演会の開催、ボランティア ガイドの養成、マップの 作成等を行う。	議会、宇佐市、 杵築市、宇佐 市観光協会、 杵築市観光協 会	
3-5	観光案内所整 備事業 (近世 学び の城下町交流 地区)	JR 中津駅に中津耶馬溪観光協 会事務所を移転し、圏域全体 の紹介が行えるように案内体 制を強化する。	中津市	平成 26 年度
3-6	寺町マップ作 成事業 (近世 学び の城下町交流 地区)	中津城下町の周遊・散策を促 進するため、寺町エリアの散 策マップや各寺の由緒などを 掲載するガイドブック等を作 成する。	中津市	平成 26 年度
3-7	中津市温泉マ ップ作成事業 (近世 学び の城下町交流 地区)	山あいにある小さな温泉施設 を含め、市内に多くの温泉が あるため、リーフレットを作 成し、これらの温泉施設を紹 介する。	中津市	平成 26 年度
3-8	滞在・周遊機 能強化促進事業 (全交流地区)	各エリアでの周遊・散策を促 進するため、エリア毎の散策 マップや寺社の由緒などを掲 載するガイドマップ、山あい にある温泉を含めた温泉リー フレット等を作成する。	中津市、宇佐 市、豊後高田 市	平成 26 ～30 年度
3-9	ひなまつり(ひ なめぐり)開催 事業 (近世 学び の城下町交流 地区)(近世 坂の城下町交 流地区)(近世 海の城下町交 流地区)	城下町エリア及び商店街の活 性化を図るため、中津・杵築・ 日山の各城下町において多様 な団体が連携し「ひなまつり (ひなめぐり)」を開催する。	中津耶馬溪観 光協会、杵築 市観光協会、 日出町観光協 会	平成 26 ～30 年度
3-10	宇佐神宮周辺 景観まちづく り事業(神代の 杜 宇佐神宮 交流地区)	ブランドコンセプトに沿った 空間形成を図るため、宇佐神 宮周辺の町並み保存と景観整 備に取り組む。	宇佐市	平成 26 ～29 年度
3-11	宇佐神宮周辺 地域受入体制 強化事業(神代 の杜 宇佐神 宮交流地区)	宇佐神宮周辺の魅力度を向上 及び周遊促進を図るため、景 観に配慮した案内板等を設置 する。	宇佐市	平成 26 ～30 年度
3-12	宇佐神宮ライ トアップ事業	夜の滞在コンテンツの充実を 図るため、宇佐神宮の境内や	宇佐市観光協 会	平成 26 ～30 年度

	(神代の杜 宇佐神宮交流 地区)	杜等の夜間ライトアップを実施する。		
3-13	地域資源の再 発見強化事業 (神代の杜 宇佐神宮交流 地区)	新たな滞在プログラムの造成 やプログラム提供者の人材育 成を促進するため、研修・モ ニターツアー等を実施する。	宇佐市、宇佐 市観光協会	平成 26 ~30 年度
3-14	周遊バス試験 運行事業 (神代の杜 宇佐神宮交流 地区)	交流地区内の 2 次交通の利便 性向上を図るため、JR 駅か ら観光地を周遊するバスを試 験運行する。	宇佐市	平成 26 ~30 年度
3-15	宇佐飴文化保 存・継承・活用 事業 (神代の杜 宇佐神宮交流 地区)	宇佐神宮の歴史とともに発展 した伝統的な宇佐飴の製造技 術を復活させ、飲食店や宇佐 神宮等と連携した滞在コンテ ンツを創出する。	宇佐市、宇佐 市観光協会、 宇佐飴研究会	平成 26 ~30 年度
3-16	グルメ観光強 化推進事業 (神代の杜 宇佐神宮交流 地区)	食・グルメを通じた宇佐観光 の魅力の充実・強化を図るた め、飲食店・宿泊施設と連携 したキャンペーン等を実施す る。	宇佐市、宇佐 市観光協会、 宇佐商工会議 所、宇佐両院 商工会	平成 26 ~30 年度
3-17	ボンネットバ ス運行事業	昭和レトロな町並みに合うボ ンネットバスを運行し、昭和 の町や田染荘等の案内を行 う。	豊後高田市、 豊後高田市観 光まちづくり 株式会社	平成 26 ~30 年度
3-18	戦略的観光情 報・魅力発信事 業	東九州自動車道の開通等に あたり、観光圏域内、特に国 東半島内の IC からの誘導看 板整備等を行う。	大分県、豊後 高田市、国東 市、杵築市、 宇佐市、日出 町	平成 26 ~30 年度
3-19	地域活性化誘 客促進施設整 備事業	圏域内周遊時の魅力を向上さ せるため、「別府湾岸・国東 半島海への道」沿いの樹木伐 採による眺望確保等を促進 する。	大分県、豊後 高田市、国東 市、杵築市、 日出町	平成 26 ~29 年度
3-20	巡礼の道ウォ ーキングコー ス整備事業	圏域内の周遊・滞在を促進す るため、国東市・杵築市・日 出町の 2 市 1 町が連携し、キ リシタン・南蛮文化遺産を活 用して、巡礼をテーマとした ウォーキングコースを整備す る。	大分県北部地 域観光圏協議 会、国東市・ 杵築市・日出 町	平成 26 ~27 年度
3-21	戦争遺産整備 事業	宇佐市には旧空軍の飛行場跡 があり、飛行機を格納してい た掩体壕も多く残る。日出町	豊の国千年ロ マン観光圏協 議会、宇佐市、	平成 26 ~30 年度

		には人間魚雷「回天」の訓練基地跡があり、回天の実物大模型の製作や、回天記念公園の整備に取り組んでいる。当圏域での戦争に関する遺産を繋ぎ、磨き上げることで周遊促進を図る。	日出町	
3-22	グリーンツーリズム周遊促進事業	グリーンツーリズムが盛んで世界農業遺産に登録された国東半島・宇佐地域において、農泊農家や農業体験施設等と連携を図って旅行商品としての磨きをかけ、さらに滞在プログラムの新たな造成などを進め、周遊に繋がる取組を促進する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、大分県、国東市、宇佐市、豊後高田市、杵築市	平成 26～30 年度
3-23	宇佐神宮・行幸会ウオーク整備事業	宇佐神宮が6年に一度執行していた「行幸会」は、1616年を最後に断絶したが、この幻の祭事、行幸会の道を訪ね、先人の足跡をたどるウオークのコースを設定し、宇佐神宮の勅使祭のある27年秋に1000人規模で実施する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会、宇佐市、豊後高田市、杵築市	平成 27 年度

(4) 住民に対する意識啓発等事業

事業 No.	個別事業名	事業概要	実施主体	実施時期
4-1	千年ロマンワークショップ開催事業	豊の国千年ロマン観光圏の取組への理解促進や、圏域内の観光・まちづくり・文化・農業等各関係者の連携強化などを目的として、圏域各地で観光地域づくりマネージャー又は外部講師によるワークショップを開催する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26～30 年度
4-2	豊の国千年ロマンチスト検定事業	圏域内の歴史・伝統・文化・暮らし等地域独自の価値の素晴らしさを地域住民に理解・共有していただき、さらに地域づくりへの参加を促すため、郷土学習教材を作成・配布したうえで、検定試験を実施する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26～30 年度
4-3	外国人留学生を対象とした観光圏PR事業	当圏域には、外国人留学生が多数在籍する大学等が立地しており、留学生に対して観光圏の取組を紹介する研修	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26～30 年度

		会等を開催することで、当圏域の観光の魅力を認識してもらい、意見等をインバウンド対策に反映するとともに、母国からの誘客にも繋げる。		
4-4	豊後高田千年ロマン観光検定	教材としてガイドマニュアル本を制作したうえで、地域の歴史・文化を中心とした観光検定を実施する。	豊後高田「千年ロマン」観光検定実行委員会	実施中
4-5	千年ロマンコンセプト普及推進事業	地域住民や関係団体を対象に、当観光圏のコンセプトである歴史的なテーマに沿った研修会やシンポジウムを実施し、神代から近代までの広域の歴史的な結び付きや、地域の歴史的な素材の再認識に繋げるとともに、地域が一体となった千年ロマン観光圏の推進を図る。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26～30 年度

(5)その他事業

事業 No.	個別事業名	事業概要	実施主体	実施時期
5-1	体験プログラム商品造成・販売促進事業	地元エージェントと連携し、当観光圏で造成した体験プログラムの活用や、地域の新たな掘り起こしを協働で行い、体験プログラムの造成及び旅行商品化を推進する。	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26～30 年度
5-2	東九州自動車道開通観光振興対策事業	平成 27 年 3 月に東九州自動車道の北九州～別府間の大部分が全線開通する予定であるため、北九州地区を重点販促地域と設定し、北九州市をはじめとした北九州地区の自治体等と連携し、合同パンフレットの作成や合同イベントの開催、各旅行エージェント、マスコミへのプロモーション等を行い、観光圏の魅力を発信する。	大分県	平成 26 年度
5-3	観光圏案内体制整備事業	各市町村のそれぞれの観光案内所について、観光圏全体を案内するワンストップ案内所機能を高めると共に、来訪客にわかりやすい拠点と	豊の国千年ロマン観光圏協議会	平成 26～30 年度

		して整備する。併せて広域的なガイドの育成や、外国人への案内体制の向上も図る。		
--	--	--	--	--

IV. 協議会に関する資料等

①豊の国千年ロマン観光圏協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、豊の国千年ロマン観光圏協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を大分県別府市上野口町1番15号一般社団法人別府市観光協会内に置く。

(会員)

第3条 協議会の会員は、県及び圏域内の各市町村及び観光協会、その他役員会において認められた団体や企業とする。

(目的)

第4条 協議会は、会員相互が新たな枠組みによる観光地間の相互連携に一体となって取り組むことで大分県北部地域における観光圏を形成するとともに、域内の歴史や文化をはじめとする様々な観光資源を効果的に結びつけることにより、観光客の誘致及び連泊や転泊による滞在型観光の促進に努め、当該エリアの観光を軸とした地域活性化と交流人口の拡大を推進することを目的とする。

(事業)

第5条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 観光圏整備計画の策定に関する事
- (2) 観光圏整備事業費補助事業に関する事
- (3) 観光圏の広域観光振興に資する共同事業並びに情報発信事業に関する事
- (4) その他協議会の目的達成のため必要な事業

(協議会の組織)

第6条 協議会は、別表に掲げる会員をもって構成する。

- 2 協議会に、別表に掲げる会員により構成する「役員会」と「連絡調整会議」及び「マネージャー会議」を置く。
また、「連絡調整会議」及び「マネージャー会議」は、会長が指名した者をもって構成する。

(協議会の運営)

第7条 会長は別府市 ONSEN ツーリズム部長をもってこれに充てる。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- 3 会長に事故がある場合は、副会長の内から、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。
- 4 会長は、幹事の中から幹事長を指名する。幹事長は、必要により「連絡調整会議」及び「マネージャー会議」を招集する。
また幹事長は、事務局運営及び会計執行管理を行う。
- 5 協議会の総会は会長が招集する。

総会は、定期総会と臨時総会とし、会員の過半数の出席(委任状を提出したものを含む。)をもって成立し、会議の議決方法は出席者(代理人を含む。)による多数決とする。

- 6 協議会の定期 総会は、毎年度6月末までに開催する。
- 7 協議会の臨時総会は、会長が必要と認めたときに召集する。
- 8 協議会の総会は、原則として公開とする。
- 9 協議会の事務は、一般社団法人別府市観光協会において処理する。
- 10 監事は、協議会の業務及び経理を監査するとともにその結果を総会に報告する。
- 11 協議会に顧問をおき、協議会の運営を補佐する。

(役員会)

第7条 「役員会」は次の役職をもって構成する。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 幹事 7名
- (4) 監事 2名
- (5) 顧問 若干名

②「役員会」は会長が必要により招集する。

「役員会」は、事業計画案及び予算案など総会に付すべき事項の作成と事業及び予算の執行管理を行う。

(連絡調整会議)

第9条 連絡調整会議は、観光圏の広域観光振興に資する共同事業並びに情報発信事業の企画、提案、事業の実施及び進捗管理を行いながら協議会事業を推進する役割を担う。

(マネージャー会議)

第10条 「マネージャー会議」は、事業目的を達成するための事業企画の立案・提案、会員連携での事業実施及び進捗管理を行う。

(意見の聴取)

第11条 協議会は、必要に応じて専門家や関係者等から意見を求めることができる。

(協議結果の取扱い)

第12条 協議会において協議が調った事項について、協議会の各会員はその協議の結果を尊重しなければならない。

(事業年度)

第13条 協議会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(代表者)

第14条 協議会の決定に基づき観光圏整備費補助事業の業務を執行するための代表者(以下「補助事業代表者」という。)を置く。

2 補助事業代表者は、一般社団法人別府市観光協会とする。

(その他)

第13条 この規約に定めるものの他、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成22年1月15日から施行する。
- 2 平成22年6月8日、一部改正。
- 3 平成26年5月29日、一部改正。

第6条1 別表

豊の国千年ロマン観光圏協議会会員名簿

(平成26年5月29日現在)

名 称
別府市ONSENツーリズム部長
中津市観光課
杵築市商工観光課
別府市観光課
豊後高田市商工観光課
宇佐市観光まちづくり課
日出町商工観光課
姫島村水産・観光商工課
大分県東部振興局地域振興部
大分県北部振興局地域振興部
社団法人ツーリズムおおいた
国東市観光課
一般社団法人別府市観光協会
中津耶馬溪観光協会
豊後高田市観光協会
一般社団法人杵築市観光協会
宇佐市観光協会
国東市観光協会
日出町観光協会
別府商工会議所
中津商工会議所
豊後高田商工会議所

名 称
国東市商工会
姫島村商工会
杵築市商工会
日出町商工会
中津市しもげ商工会
宇佐両院商工会
別府市旅館ホテル組合
中津市旅館ホテル組合
宇佐市旅館組合
豊後高田旅館組合
杵築市旅館組合
国東市旅館組合
大分空港利用促進期成会
大分航空ターミナル株式会社
株式会社フェリーさんふらわあ別府支店
周防灘フェリー株式会社竹田津営業所
別府市コンベンション振興協議会
豊後高田市観光まちづくり株式会社
西日本高速サービス・ホールディング(株)
日豊観光バス株式会社
(株)ビッグファイブ
大分県観光・地域振興課

第6条2 別表

平成26年度「役員会」名簿

役員名	備考
別府市 ONSEN ツーリズム部長	会長（第7条）
杵築市商工観光課長	副会長
宇佐市観光まちづくり課長	副会長
国東市観光課長	幹事長
別府市観光課長	幹事
中津市観光課長	幹事
豊後高田市商工観光課長	幹事
姫島村水産・観光商工課長	幹事
大分県東部振興局地域振興部長	幹事
大分県北部振興局地域振興部長	幹事
公益社団法人ツーリズムおおいた専務理事	監事
日出町商工観光課長	監事
大分県観光・地域振興課	顧問
大分県交通政策課	顧問

（参考）慣行により次年度の幹事長は、豊後高田市となる予定です。国東市は、副会長へ、杵築市は幹事となります。

第6条2 関係

平成26年度「連絡調整会議」名簿

座長	役員会幹事長：国東市観光課長	
委員	別府市観光課係長	
〃	中津市観光課係長	
〃	宇佐市観光まちづくり課係長	
〃	豊後高田市商工観光課係長	
〃	杵築市商工観光課係長	
〃	日出町商工観光課係長	
〃	姫島村水産・観光商工課係長	
〃	東部振興局地域振興部総括	
〃	北部振興局地域振興部総括	
〃	公益社団法人ツーリズムおおいた担当	

第6条2 関係

「マネージャー会議」名簿

所属・役職	氏名	備考
一般社団法人別府市観光協会	堤 栄一郎	観光庁研修終了
中津市観光課	折元 展希	
豊後高田市観光まちづくり株式会社	河 野 聡	観光庁研修終了
一般社団法人杵築市観光協会 事務局長	三 浦 孝典	観光庁研修終了
宇佐市観光協会 事務局長	小 野 辰浩	観光庁研修終了
国東市観光課	都留 泰男	
日出町観光協会 事務局長	佐 藤 隆	観光庁研修終了
姫島村水産・観光商工課	西村 元子	

V. その他市町村又は都道府県が必要と認める事項

観光圏整備計画は、「日本の記憶を巡る旅・・・千年ロマン時空の旅」をブランディングコンセプトに、圏域の地域資源が持つそれぞれの魅力を連携し、地域が一体となって取り組むものである。

当圏域内において別途計画されている社会資本整備事業との整合性を図り、相互に連携し、観光を軸とした地域づくりを推進することを目指す。

(1) 観光資源としての魅力向上

国東半島・宇佐地域の「世界農業遺産の認定」や、姫島の「日本ジオパーク」の認定、「別府湾岸・国東半島海への道」の日本風景街道の認定など、圏域内の観光資源の魅力向上に繋がる話題が続いており、それに伴い、県及び市町村としても、こうした契機を地域の活力向上に繋げるため、さまざまな関係する取組を進めているところである。また、こうした取組は、千年ロマン観光圏と連携することにより、一体的に広域的な観光振興に繋げるものとしている。

(2) 圏域内の移動の利便性の向上・快適性

① 東九州自動車道の整備

平成27年度に北九州～宮崎までの大部分の開通が見込まれる東九州自動車道については、北九州、大分の都市圏を結ぶ東九州軸として、生活・文化・産業・観光等における多様な交流を促進する窓口になるものと考えられる。



②中津日田道路（地域高規格道路）の整備

中津日田道路は、東九州自動車道や九州横断自動車道と連結することによりさらなる広域的な循環型ネットワークを形成することが可能になる地域高規格道路である。

中津日田道路が供用されると、東九州自動車道、九州横断自動車道の3つの軸によって、3ブロック（中津ブロック、日田ブロック、大分・別府部ブロック）が密に連携する一体性の高いトライアングル構造の圏域構造が実現することが期待されている。